

頼山陽史跡資料館 企画展

澤三石^{さわさんせき}“清逸の人”

— 広島藩雅人伝 其壱 —

令和8年

9月19日^土
～ 11月8日^日

(※会期中に作品を一部入れ替えます)

[開館時間] 午前9時30分～午後5時
(入館は午後4時30分まで)

[休館日] 月曜日
(祝休日は開館し、翌平日が休館)

入館料金／ 一般 300円 (240円)
高校生・大学生 220円 (170円)
小・中学生 150円 (120円)
() 内は20名以上の団体料金



白梅図 澤三石筆 弘化2年(1845) 海田町蔵(千葉家旧蔵)

頼山陽史跡資料館

〒730-0036 広島市中区袋町5-15 TEL/FAX 082-298-5051
<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/raisanyou/>

頼山陽史跡資料館

検索

澤三石「清逸の人」

— 広島藩雅人伝 其壺 —

この度、当館では「広島藩雅人伝」と銘打ち、江戸時代に広島藩で活躍した文化人・風流人を紹介する企画を行います。その第一弾として、江戸時代後期の広島藩士である澤三石を取り上げます。澤三石は、若年時に当時の藩主浅野重晟の小姓として仕え、後に藩の年寄役として、藩政の中枢に立った人物です。同時に、彼は書画に優れた風流人としても知られ、優美かつ品格の高い書画作品を多く残しています。

本展では、広島県内に残る資料や三石の書画作品を紹介し、彼の人物像や目指した生き方を浮かび上がらせていきます。「広陵（＝広島）第一之人物」（村上家乗）とも評された澤三石という人物を通して、豊かな生き方とは何かといったことにも思いを馳せていただく機会にできればと思います。



「村上家乗」
嘉永6年(1853)
広島大学文学部日本史学研究室蔵



山水図 澤三石筆 天保13年(1842)
明星院蔵



二大字「彭寿」 澤三石書
弘化2年(1845)
個人蔵



不老万年図 澤三石筆
天保11年(1840)
個人蔵



紅梅図 澤三石筆
文政5年(1822)
当館蔵



【アクセス】

- JR広島駅から20分
広島市都市循環バス（エキまちループ）101号線「左回り」袋町下車すぐ
広島バス21号線「宇品線」袋町下車すぐ
広電電車1号線「紙屋町経由広島港行」袋町下車すぐ
- アストラムライン本通駅下車3分

■ 関連行事

◎ 展示解説会

9月26日(土) 10月10日(土) 10月31日(土) いずれも午後1時30分～
解 説：当館学芸員（9月26日、10月10日、10月31日）
隅川明宏氏（広島県立美術館主任学芸員）（9月26日）

◎ 城下町ウォーク（澤三石と頼家の屋敷跡地をめぐる）

10月24日(土) 午後1時30分～
定 員：15名（事前申込制）
解 説：当館学芸員

◎ 頼山陽文化講演会（公益財団法人頼山陽記念文化財団主催）

11月3日(火・祝) 午後2時～
会 場：合人社ウェンディひと・まちプラザ
定 員：60名（事前申込制）
講 師：隅川明宏氏（広島県立美術館主任学芸員）
演 題：「澤三石が絵画に託したもの」